

第 12 号	令和8年2月9日 松山市立湯山中学校	
	【学校の教育目標】 笑顔・夢・挑戦 諦めない生徒の育成	

○校長室より「大なる立志」と「小なる立志」の調和

校長 池田 秀彦

2月、如月（きさらぎ）を迎えます。一年間で最も寒さが厳しいと言われる時期です。先週も朝から寒風が吹きつけ、通学路上でも霜柱が見られる日がありました。その時、ふと視線を横に動かしてみると、ヒヤシンスの小さな芽を見つけることができました。寒さの一方で、春ももうすぐそこまで近づいてきているのですね。

さて、2月になると、市内の多くの中学校では、「少年の日」を祝う行事が行われます。「少年の日」は、数え年で15歳になる中学2年生が将来の夢や目標に向かって決意を新たにするための行事で、奈良時代からの「元服の儀」に由来します。本校においても、毎年2年生が記念集会を開き、「少年の日」の意思（「自覚・立志・健康」の願い）を継承して、これまでの自分を振り返りながら、これからの自分について、一人ひとり様々な志を立てています。

「日本資本主義の父」と呼ばれ、一万円札紙幣にも描かれている渋沢栄一さんは、著書「論語と算盤」の中で、「立志」とは単なる目標設定ではなく、「大なる立志（人生の根本理念）」と「小なる立志（日々の具体的な目標）」を調和させ、自身の強み（得意）を活かして社会に貢献する「志」を立てることであると説明しています。中でも、自分の長所・短所を冷静に分析し、最も得意な分野に向かって志を定め、生涯を通じてその志を貫くことが重要だと説いています。

自分のことを見つめると短所ばかりが頭に浮かんでしまうものですが、この著書を拝見して、「まずは長所を伸ばす形で目標を立てた方が良い」という一節には勇気を貰いました。また、立志する際には、生涯にわたって「持続可能なこと」にすることという点も納得するところです。「目標は高ければ高い方が良い」という話もよく見聞きしますが、無理をして計画倒れになっては元も子もありません。まずは自身の力量や環境に適した目標を立て、実現可能な努力と環境整備（学習や体力作り等）を続けていくことを、渋沢さんは私たちに勧めているのではないかと思います。

生徒の書いた志を読ませてもらうと、様々な子どもたちの「大なる立志」と「小なる立志」が組み合わさって、今の湯山中学校、湯山地域を形作っていることを実感します。これからも、生徒一人ひとりに寄り添い、それぞれの立てた志を、保護者や地域の皆様と協力しながら応援していきたいと考えています。



○少年の日記念集会「今までの自分、これからの自分」（2年生）

2年学年主任 松田 恭子

80期生が迎える少年の日。1学期から少年の日のプロジェクトとして、準備を進めてきました。幼い心を捨て、大人への自覚を持とうというけじめの行事です。「今までの自分」と対峙し、「これからの人生」をどう歩んでいくか、考える一つのきっかけになることを願いながら、「自分史」に取り組みました。また、記念集会では、その「自分史」や「職場体験学習」のまとめの発表も行いました。記念合唱「心の瞳」では、こつこつとパート別練習を積み重ね、美しいハーモニーを奏でてきました。美しい歌声は、本当に人を感動させます。その素晴らしい合唱を披露してくれるのが、2年生の自慢できるところです。大きな口を開けて、熱心に、ひたむきに歌う姿に、心が震えました。この記念集会を一つのステップとして、3年生に向けて、更に飛躍することを期待します。もうすぐ、最上級生となることを意識して、残りの2年生の日々も過ごしてほしいです。



【少年の日記念集会開会式】 【これまでの歩み（動画視聴）】 【海外派遣体験の発表】

○松山市海外派遣体験「アメリカで学んだこと」

2年2組 Uさん

僕は、松山市海外派遣2025の一員として、昨年7月にアメリカのサクラメントとサンフランシスコを訪れました。海外は初めてでしたが、街の大きさや生活の違いを知り、ホームステイでの交流を通して、日本との文化や価値観の違いも実感しました。この経験は、自分の視野を大きく広げるものとなったと思います。今でも、ホームステイ先の人たちとSNSを通じて交流しています。将来の夢につながっていきたくらいです。

○職場体験学習「栗林病院」

2年1組 Wさん

私はこの職場体験学習で、「人とのつながりの大切さ」を学びました。病院の職員の皆様は患者さんとたくさんコミュニケーションをとっていました。そのため、患者さんも職員の皆様も笑顔があふれていました。「働く」ということは大変なことでもあります。しかし、「人とのつながり」を大切にしていた職員の皆様は病院でのお仕事を「続けたい」とおっしゃっていました。私はこの体験でより医療に関わる仕事に興味を持ちました。

○職場体験学習「亀井製菓」

2年1組 Nさん

亀井製菓では、1日目・2日目は、お菓子を箱に詰め込んだり、実際に作ってみたりしました。なかなか見ることでできない工場の中を見学し、お菓子ができるまでの手順を見ることができて、とても勉強になりました。3日目は、戦争についてのお話を伺いました。お話をいただいた、田中英子さんは、当時広島で被爆された方です。実体験は、本当に辛いお話でした。このお話を聞いて、今の戦争のない日本で、普通に暮らせているということがとても幸せだと分かりました。

○職場体験学習「介護の現場で働いてみて」（ともの家）

2年2組 Mさん

私たちは、「ともの家 吾も紅」に職場体験に行きました。吾も紅では、利用者さんとのコミュニケーションや身の回りのお手伝いの体験をしました。実際に、介護の現場で働いてみると、チームワークの大切さや、周りを見て臨機応変に対応することの重要さに気付くことができました。SDGs活動では、利用者さんと「ともに」できる活動をされていました。今回の職場体験学習を通して、介護の良いところや人との関わり方について知ることができました。

○職場体験学習「東消防署」

2年2組 Mさん

職場体験学習で東消防署に行きました。最初はしんどいかなと思っていたけれど、消防署の方々が優しく、やりやすかったです。最初はホースをのばしたり、巻いたりしました。まっすぐ伸ばすのも難しく、巻くのも大変でした。実際に水を出しました。圧力を強くすると持つのが重くてしんどかったです。2日目は、人命救助を行いました。暗いところや煙が多いところで、いつも署員の方がされていると考えると、本当にすごいなと思いました。普段できないような体験をさせていただいたので、とてもよい経験になりました。

○自分史「理想」

2年2組 Kさん

私は理想を強く追い求めていました。完璧でありたいと思うあまり、思うようにできない自分を責めてしまうこともありました。しかし、今は、失敗や遠回りも成長の一部だと考えています。周りと比べて焦る気持ちもありますが、自分のペースを信じるのが大切だと気付きました。理想に届かなくても挑戦をやめず、一步一步前に進み続ける自分であることが、私の大切にしたい理想です。



【職場体験学習の発表】



【自分史の発表】



【記念合唱「心の瞳」演奏】

○ときめき学習発表会

2月6日、いぶき・せせらぎ学級の生徒が、市民会館で開催された「ときめき学習発表会」に参加しました。今年も大正琴の準備を行い、「小さい秋みつけた」、「おどるポンポコリン」、「残酷な天使のテーゼ」の3曲を練習してきました。本番の2日前には、先生方の前で発表会の時間も設け、アドバイスや感想を言ってもらいました。そして、当日はそのときの演奏を超える今までで一番良い演奏ができました。3年生にとっては、今年が最後の発表となりましたが、このすてきな音色をこれからも引き継いでいってほしいですね。演奏を聴きにきてくださった皆様、応援ありがとうございました。



【ときめき学習発表会の様子】



【演奏後にみんなで】



【学校での練習会】

○魚食普及ワークショップ（1年生「食育」）

2学期の11月17日に、1年生の食育の一環として、「魚食普及ワークショップ」を開催しました。食文化・料理研究家の中村和憲さんと県農林水産部の方々を講師にお迎えし、食事の大切さや愛媛県の魚である鯛を使った料理について学習を深めました。まず、中村さんから食事の大切さについてお話をいただきました。特に10歳～20歳にかけての期間は、脳の働きを活性化するアミノ酸を多く採るようにすることが大切なことを教えていただきました。後半では、そのリジンがたくさん含まれている真鯛をさばいて、昆布だしのスープで鯛シャブにして試食する活動を行いました。魚が少し苦手と言っていた生徒も、笑顔で「おいしい！」と言って食べていました。これを機会に、食に関する興味関心がさらに広がっていくことを期待しています。



【骨を丈夫にする魚食を学ぶ】



【鯛をさばく作業に興味津々】



【作った魚料理を試食】

○ものづくり講座（2年生「総合的な学習の時間（キャリア教育）」）

2学期の11月27日に、2年生が「ものづくり講座」を受講しました。この講座は、愛媛県職業能力開発協会様のご協力のもと実施されたもので、普段の学校生活ではなかなか体験できない、専門性の高い4つの講座（①表装：ミニ屏風づくり、②石材施工：石割体験、石のプレートづくり、③家具製作：かな削り・丸太切り体験、木工小物入れづくり、④日本料理：あじのお造り、飾り切り）が実施されました。どの講座でも、子どもたちは興味津々な様子で意欲的に取り組み、職人の技や仕事の奥深さに触れる貴重な時間となりました。熱心に活動する姿が多く見られ、体験を通して「ものづくり」の魅力を実感できた一日でした。ご指導いただいた講師の先生方（南古堂、近藤石材店、もく工房、別邸朧月夜）には、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



【石割体験（石材加工）に挑戦】



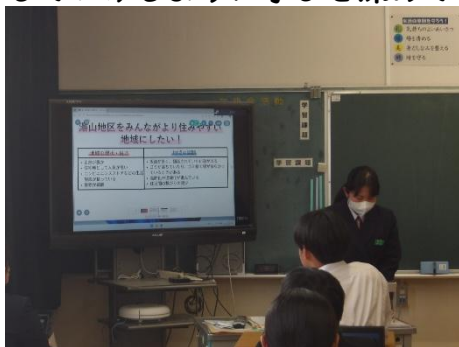
【完成したミニ屏風】



【小物入れづくりの様子】

○住み続けられるまちづくり発表会（3年生「総合的な学習の時間」）

2学期の12月2日、3年生が、総合的な学習の時間で学習してきたことの成果を発表する時間を持ちました。これまで、自分たちの湯山地区を「みんながより住みやすい地域にしたい」というテーマのもと、生徒一人ひとりが課題を持ち、解決するための手立てや、具体的な実践について考えてきました。中には、地域の強みである「豊かな自然や生活環境」を生かしながら、「住民間の繋がり」を確かなものにしていくことを考え、今年実践した中学生主体の秋祭り実行委員を核とした、夏祭りの復活について発表している生徒も見られました。本校は、持続可能な開発目標（SDGs）について、防災学習やリサイクル活動等3年間を通じて学習しています。3年生の取り組む「住み続けられるまちづくりを」については、今後も地域の方々と一緒に具現化していけるように学びを深めていきたいと考えてます。



【発表会の様子】



【話し合い活動の様子】



【秋祭り前日行事の様子】

○入学者説明会（新入学児童・保護者）

2月16日の午後、来年度の新入学児童・保護者の方々を対象に入学者説明会を開催します。当日は、入学式のご案内や、湯山中学校の紹介、生徒申し合わせ事項（服装心得）、学校の事務に関する事等の説明があります。また、会の後には、学用品の販売も行う予定です。なお、配布資料については、後日中学校ホームページに掲載するようにしておりますので、参加が難しい方はそちらを参考にしてください。